

東北情報通信懇談会

東北情報通信懇談会は、地域の特性に応じた情報通信の普及促進、情報通信の発展を図るため、東北地方の産・学・官の各界が結集して、「東北ニューメディア懇談会」の名称で昭和61年2月に設立されました。

平成7年5月の通常総会において名称を「東北情報通信懇談会」に変更するとともに、情報通信社会に対応した運営組織に改編して運営し、今年で設立37年目を迎えました。令和5年3月31日現在の会員数は173会員となっています。

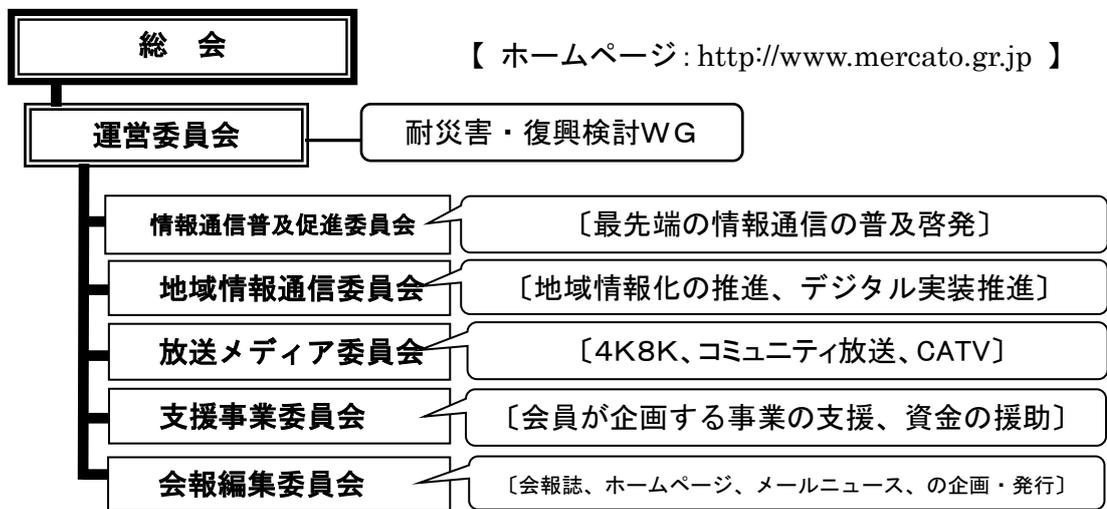
1 事業内容

ICT/IoTを活用し地方公共団体が抱える様々な問題や課題を解決し、安心・安全な暮らしの確保、元気なまちづくりの推進、ひとにやさしいICT環境の整備、さらには情報リテラシーの向上と会員相互の情報交換を促進するため各種事業を行っています。

また、ICT/IoTにより東日本大震災の復興を支援するための活動を行っています。

2 運営体制

本会の組織は以下のように、多彩な事業を様々な方面から活動できる体制をとっています。



3 役員（令和4年度）

- | | | |
|---------------|--------|-------------------------------|
| 副会長
(会長代理) | 藤崎 三郎助 | 東北六県商工会議所連合会 会長 |
| 副会長 | 一力 雅彦 | 株式会社河北新報社 代表取締役社長 |
| 運営委員長 | 鈴木 陽一 | 東北文化学園大学 工学部長
東北大学 名誉教授 ほか |